



問 町の人口減少対策について

答 魅力あるまちづくりを進め、転出を抑える

国立社会保障・人口問題研究所の推計では、2045年には町の人口が5,074人に減少するとされています。

問 こうした人口減少に対しての所見を伺う。

町長 当町においても人口減少と地域経済縮小の克服が大きな課題ですので、今後も社会動向を注視しながら各種の施策を考慮していきたい。

問 人口の自然増減の推移が広がり続けているが、転出者が転入者を上回り続けている理由は。

町民税務課長 20代の若年層の異動が顕著です。進学・就職・結婚等の影響が社会減少の数値に現れています。

問 ※合計特殊出生率は国1.38、

県が1.43、当町は1.15とされているが、この数値をどう捉えているか。

町民税務課長 県内では下から3番目42位です。五霞町については、残念ながら近隣と比較しても低いのが現状です。

問 町長は昼間人口が5,000人増えると言われているが、そういう企業で働く人をどう町に取り込むのか。

町長 五霞町に住宅を求めて来るといった形が少ない中で、民間

資金・ノウハウを活用する、財政負担を抑えながらやっていく賃貸住宅等についても民間からの視点では難しいとの状況です。

問 町の人口減少を緩和することが課題と思うが、対策は。

町長 住民が安心して生活を営み、子供を産み育てられる環境づくり、また、ふるさとへの愛着と誇りを持ち、活力に満ちあふれた魅力あるまちづくりを進め、転出を抑える取組みをしていきます。



元気に遊ぶ子供たち（西児童館）

※合計特殊出生率…1人の女性が生涯に生むと見込まれる子供の数の平均を示す。15歳から49歳までの女性が生んだ子供の数を元に算出。

問 総合運動公園予定地について

答 第6次総合計画を見据えたなかで検討をしていく

今後の方針を伺う。

問 昨年5月に有識者とグループリーダーとの合同会議をもったと伺ったが、その後の進捗は。

政策財務課長 今後も行財政事情等に留意しながら、第6次総合計画まで見据えた上で検討していきたい。

問 年間維持管理費は。

政策財務課長 年5回の除草で約767万円です。

問 観光拠点として町内外から多くの人を呼び込めるような整備をすべきと考えるが、そうした考えについて伺う。

町長 今後の情勢を十分踏まえ

ながら、五霞町の地域振興の拠点となるような、また若者が大いに自慢できるような施設、これを、第6次総合計画の中で、重点施策事業として考えています。